

Ⅱ 社会福祉介護研修センターの概要

社会福祉介護研修センターの概要

1 設置目的

高齢社会を支える福祉の人づくりを推進するため、広く県民を対象とした介護研修、社会福祉施設職員や社会福祉関係行政職員等の社会福祉従事者に対する専門研修、福祉用具の展示・普及、高齢者問題に対する相談活動及び福祉人材のあっせん等の各事業を総合的に実施する。

2 施設の概要

(1) 社会福祉介護研修センター

所在地：大分市明野東3丁目4番1号

設置年月：平成5年11月

敷地面積：13,579.14㎡（駐車場214台）

建物構造：本館（鉄筋コンクリート造） 地上3階・地下1階

延床面積：5,984.34㎡

主要施設：

【1階】福祉用具展示場、高齢者総合相談センター、福祉人材センター、相談室、会議室、事務室

【2階】研修室3室、介護実習室5室（入浴実習室、ベッド実習室、トイレ実習室、和室実習室、調理実習室）、相談室、休憩室、講師控室

【3階】大ホール、小ホール、研修室3室、図書情報室、講師控室

(2) 住宅改造モデル展示場

高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅改修の知識の普及を図るため、玄関、寝室、トイレ、浴室、廊下等を中心に改修例を展示し、相談もできるようにしている。

設置場所：大分県社会福祉介護研修センター敷地内

設置月日：平成5年11月

構造・規模：木造2階建 249.79㎡（延床面積）

主な展示例：玄関3例、トイレ8例、浴室3例、浴室洗面所一体例1例

寝室（和室1例、洋室1例）、キッチン1例、ホームエレベーター1例、階段昇降機1例等

(3) 災害物資備蓄倉庫（旧ウエルフエアテクノハウス）

大分県社会福祉介護研修センター敷地内に設置されていたウエルフエアテクノハウスを平成25年4月1日付けで災害物資備蓄倉庫に用途変更し、災害時における非常用物資等の保管場所として使用している。

（参考）

【ウエルフエアテクノハウスの概要】

ウエルフエアテクノハウスは、平成5年に制定された「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律」いわゆる「福祉用具法」に基づき、通商産業省工業技術院の医療福祉機器技術研究開発制度の一環として、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が技術研究組合医療福祉機器研究所に委託し、望ましい在宅介護を実現するために、先端在宅介護機器システムや様々に工夫を凝らした高齢者配慮住宅の技術開発を推進する研究施設として、全国13カ所に設置された。

・ 設置年月：平成7年3月

（平成12年4月、新エネルギー・産業技術総合開発機構から大分県に譲与）

・ 構造・規模：軽量鉄骨造2階建 197.24㎡（延床面積）

・ 主な設備：キッチン 電動昇降調理台、横型乾燥機付洗濯機

玄 関 電動昇降移乗ベンチ、段差解消機（屋外タイプ）、監視カメラ

居 間 等 水平トランスファー、電動昇降トイレ、移動テーブル

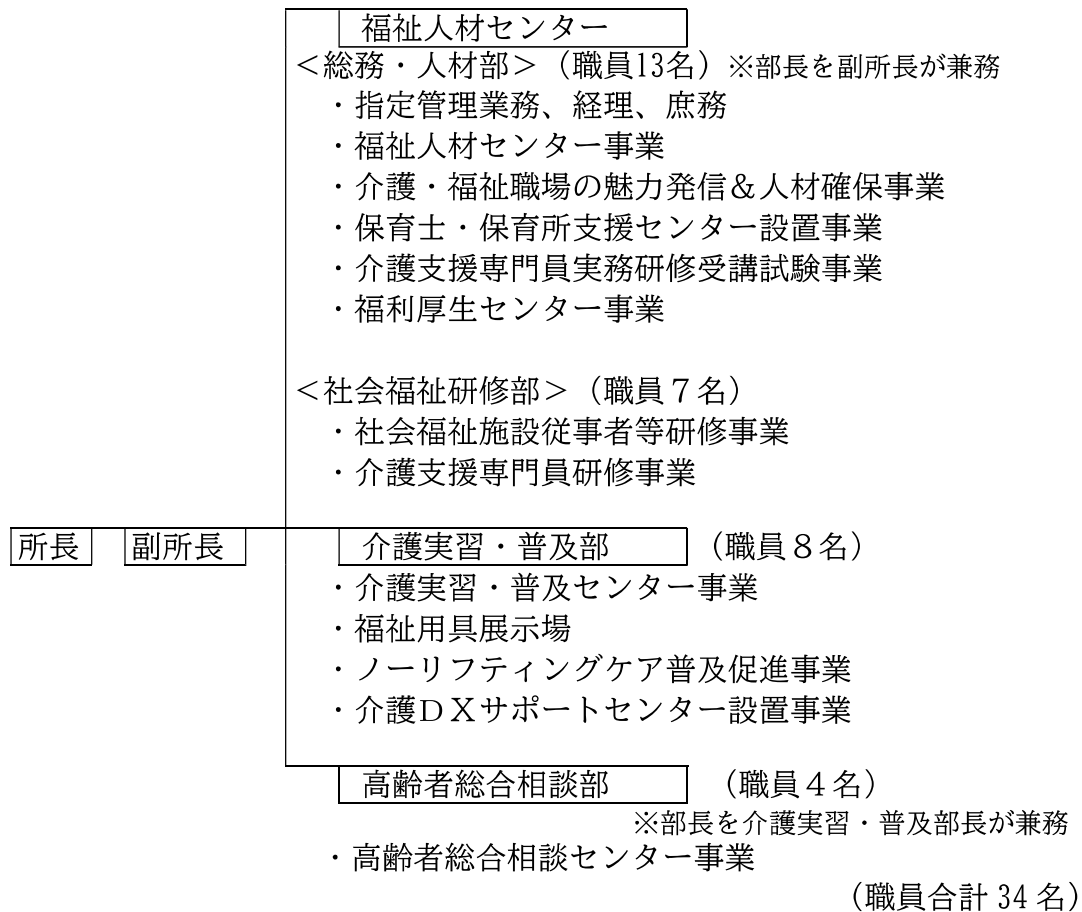
そ の 他 非常時外開き建具、健康省エネ空調システム、太陽光発電システム、ホームエレベーター

3 管理運営

社会福祉法人大分県社会福祉協議会（指定管理者）による管理運営

4 組織

社会福祉介護研修センター組織図



職員配置内訳

所 属	人数	配置部所
大分県社会福祉協議会	32名	所長、副所長 福祉人材センター 介護実習・普及部 高齢者総合相談部
農協共済 別府リハビリテーションセンター	1 名	高齢者総合相談部
なかつ情報通信開発センター（株）	1 名	介護実習・普及部

※介護研修の実習講師

介護研修の実施に当たっては、平成3年度から経験豊富な福祉施設職員、訪問介護員等を介護技術講師として養成しており、研修センター及び地域で開催する研修の講師を務めている（令和7年度までの養成者数は640名）。